

第1回 横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会会議録	
日 時	平成27年4月20日(月)15時30分から17時50分
開催場所	横浜新関内ビル(現 関内トーセイビルⅡ) 11階会議室
出席者	岩野 多恵委員、嘉納 成男委員、北村 春幸委員、国吉 直行委員、田中 稲子委員
欠席者	なし
開催形態	一部非公開(傍聴者6名)
議 題	1 委員長の選出について 2 運営要綱(案)の確認について 3 技術提案等の評価項目及び評価基準の審議について
決定事項	1 委員長に、嘉納 成男委員が選出された。 2 委員長の職務代理者に、岩野 多恵委員が指名された。 3 運営要綱について委員会にて承認された。 4 委員会より「技術提案等の評価項目及び評価基準」について答申があった。
議 事	<p>1 横浜市挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築局長 坂和 伸賢 <p>2 委員紹介</p> <p>3 条例の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会条例について説明 ・ 会議の成立について確認 委員5名全員が出席しているため、条例第6条の定足数を満たし、会議が成立していることを確認 <p>4 議題</p> <p>(1) 委員長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 互選により委員長を選出 ・ 委員長より職務代理者を指名 <p>(2) 運営要綱(案)の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会運営要綱(案)について説明 ・ 横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会運営要綱について承認 ・ 議題(3)及び次回の委員会について、非公開とすることを決定 <p>(3) 技術提案等の評価項目及び評価基準の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市市庁舎移転新築工事における発注手続き及び評価の進め方について確認 ・ 評価項目及び評価基準(案)について審議し、答申を決定 ・ 第2回横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会の進め方と加算点の算出について確認 <p>【評価項目及び評価基準(案)についての審議の議事要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委 員：「有意な検討項目」にいくつ該当すると何点などの決まりはあるのか。 ○事務局：「有意な検討項目」は具体的な評価項目に対して、市が事前分析を行うために整理した参考資料である。評価は評価項目の評価基準に基づいて、各委員が独自に判断・評価し、判定いただきたい。 ○委 員：落札者決定後、提案されたデザインは柔軟に変更できるのか。

- 事務局：デザインは参考資料なのでその通り実現するわけではなく、横浜市と設計協議をしながら進めることになる。
- 委員：デザインについてはパースではなく、コンセプトや方向性を評価する。
- 委員：新市庁舎整備基本理念に「環境に最大限配慮した低炭素型の市庁舎」とあるが、Ⅱ.環境技術提案ではエネルギー利用の評価項目が中心となっており、「有意な検討項目」にも低炭素の項目が少ない。低炭素技術をどのように評価するのか。
- 事務局：「2 低炭素型の市庁舎と、快適な室環境の両立に関する提案」などの評価項目がある。環境技術は創エネルギー、省エネルギー、自然エネルギーの有効利用でも捉えている。
- CM 事業者：低炭素については、Ⅲ.低層部の総合技術提案に「1(1)緑化を含む自然環境の取り組みとビル風に配慮した快適制御技術や音響・照明計画」という評価項目や「記入方法及び提案の要点」で自然素材や環境技術の提案を誘導するような表現をしている。
- 委員：Ⅱ.環境技術提案の具体的な評価項目「2 低炭素型の市庁舎と、快適な室環境の両立に関する提案」に「(1)室環境への自然エネルギーの有効利用と快適制御」だけがあるので、絞られているように感じる。
- 全委員：具体的な評価項目と評価基準（案）について具体的な評価項目の「2(1) 室環境への自然エネルギーの有効利用と快適制御」を削除し、答申とすることに同意。

5 その他

- ・ 第2回横浜市市庁舎移転新築工事技術提案等評価委員会日程調整

6 閉会

以上